



住人十色 住人色に染まる部屋

コンセプト

今回、この部屋をリノベーションするにあたり、どういった空間デザインが居住者にとって住みやすい環境であるのかを重点的に考えた。そこで私たちは、この部屋に必要なもの、そしてどの居住者にも必要で、いくつあっても困らないものは収納スペースだと考え、「収納」というキーワードをコンセプトとした。

収納

収納といってもただ単に、クローゼットのような収納スペースを確保するだけでは利便的にも、デザイン的にも普通のマンションと同じになってしまう。そこで、収納スペースを確保する上で「居住者のライフスタイルに合わせた収納の仕方ができる」「動線考えた収納スペースの確保」「快適に生活できる収納」「デザイン的な収納」の4点に視点を置き、手軽に入手できる「有孔ボード」を活用したリノベーションの計画を行った。

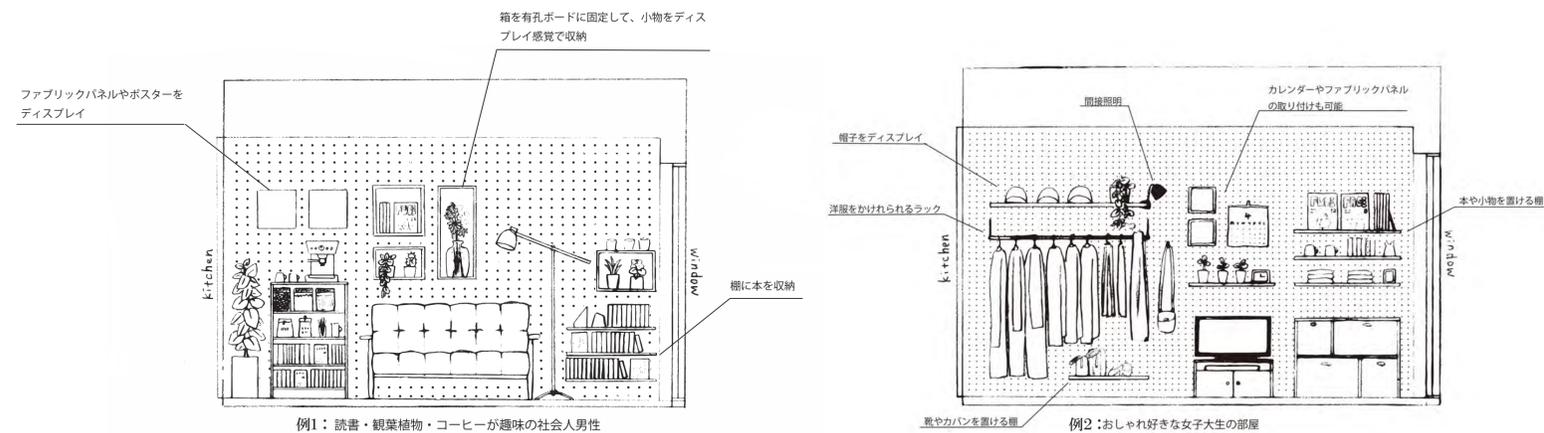


カーブカラー赤

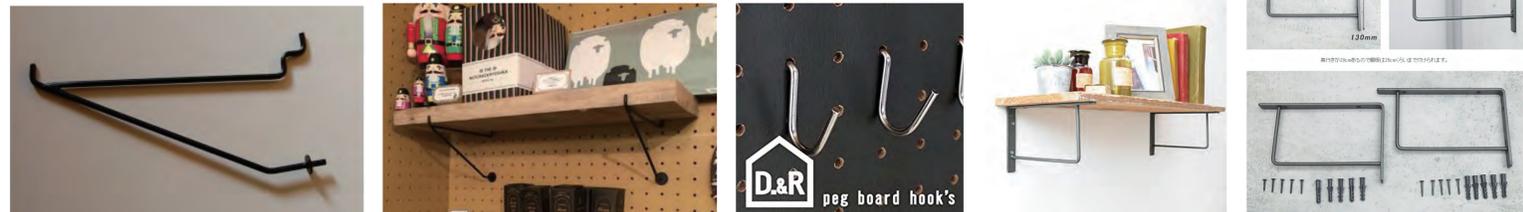
カーブロードに隣接した立地であるためカーブのイメージカラーである赤と白をアクセントカラーとして玄関ドア、表札などに取り入れることで広島らしさを現した。しかしあえてリビングは落ち着いたカラーにし、居住者が自由にコーディネートをすることができる。

有孔ボードの活用方法

現在張られているクロスの上から下地として縦胴縁（10×20mm）を450mmピッチで取り付けます。その上にシナ合板有孔ボード（3,750×2,550×6mm）を張り付ける。有孔ボードを壁一面に取り付けることによって、賃貸住宅では難しかった壁面収納が可能となる。家具を壁付けすることもできるので、インテリアコーディネートが制限されない。



有孔ボードの取り付け金具やフック、板などは、ホームセンターや100円ショップ、通販などで手に入れることができる。



インテリア計画

602~604号室

602~604号室は床をモルタル、壁・天井はAEP（白色）仕上げとした。

1. 玄関エリア

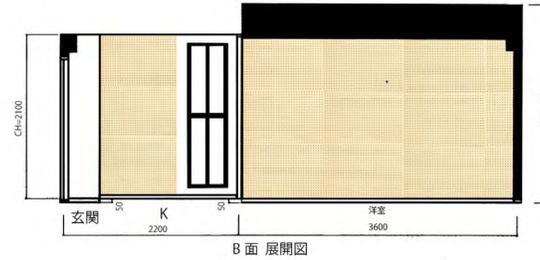
お風呂場の入り口横の壁に有孔ボードを取り付けた。玄関周りは物があふれがちだが限られたスペースの中でコートや帽子、鍵などを収納することができすっきりとした空間にすることができる。

2. キッチンエリア

上部のキャビネット横のデッドスペースはパイプを取り付け、調理器具を吊るせるようにすることで、スペース有効活用し、尚且つ効率よく調理をすることができる空間に仕上げた。

3. リビングエリア

有孔ボードを壁全面に取り付けることで、自分に合ったレイアウトができる。また、棚やフックなどを取り付けることにより、雑誌や小物などの収納も可能となる。そしてユニフォームやボールなどを飾り見せる収納としても活用できる。



601号室

壁・天井はあえて仕上げを施さず、床を薄塗モルタルかなごで仕上げとした。

また、天井板を取り払い階高を高くすることで広々とした空間にした。

『住む』目的で部屋を借りるのが一般的であったが、本提案では『趣味の部屋』として一室を借りることも想定し、住人が自由にDIYできる自由度の高い部屋を用意した。